

平成30年度 坂本教育賞

受賞校	氏名	表彰理由
<p>香美市立 鏡野中学校</p> <p>学級数 通常学級15 生徒数 375</p>	<p>学校長 前田圭一 教育長 時久恵子</p>	<p>「自らの人生を切り拓き、積極的に将来を展望する生徒の育成」を教育目標に掲げ、「聴く 考える 伝え合う力の育成」を研究テーマとして、力強い教育実践を展開している。</p> <p>チーム鏡野として「鏡野中の授業づくり」を全教職員で確認して実践し、授業改善に取り組んだ結果、生徒の学習面、生活面で劇的に変化が見られた。</p> <p>また、地域と連携した商店街の活性化、地場製品の発信などは、保護者や地域から高い評価を得ており、生徒を含めて学校をあげてチーム鏡野としての取り組みを高く評価する。</p>
<p>津野町立 葉山小学校</p> <p>学級数 9 児童数 118</p>	<p>学校長 安岡幸子 教育長 久寿久美子</p>	<p>道徳教育を通して「確かな学力」と「豊かな心」の育成に組織的・計画的に取り組み、着実に成果を上げた。</p> <p>児童には「聴く姿勢」「関わろうとする姿勢」「表現すること」を身につけさせるため、全教職員が授業公開、事前・事後の研究などに積極的に取り組み、管理職自らも道徳の授業に関わるなど、学校内部でチームとしての取り組みがみられ、また、保護者や地域の方が年間を通して子どもたちの学習支援に関わるなど、学校を中心とした「チーム学校」で子どもたちを育てる仕組みづくりを高く評価する。</p>
<p>土佐清水市立 清水小学校</p> <p>学級数 12 特別支援学級 4 児童数 293</p>	<p>学校長 筒井広実 教育長 弘田浩三</p>	<p>「『鍛える』～心豊かでたくましい子どもの育成～」を教育目標に掲げ、「チーム清水小」として、授業づくりとその基盤づくりに取り組んでいる。</p> <p>また、大量退職・採用の時代において教育力を継承するため、若年教員の指導力向上に向けて組織的OJTに取り組む仕組みを構築している。</p> <p>このような組織的な取り組みを通して、清水小ならではの教育風土をつくり上げ、子どもたちの学習面の向上、生活面の安定で大きな成果を上げ、保護者からの信頼を得ていることを高く評価する。</p>
<p>高知市立 第四小学校</p> <p>学級数 15 児童数 348</p>	<p>学校長 近澤玲子 教育長 山本正篤</p>	<p>「学びあい 未来に羽ばたく 第四の子」を教育目標に掲げ、研究組織を構築し、チームとして授業改善に取り組んでいる。</p> <p>中でも外国語教育を中心にして一丸となった取り組みは研究の中心となり、それが学校全体としての教職員の意識改革につながっている。</p> <p>このような教職員のベクトル合わせに向けた取り組みは、子どもたちの学力向上にも大きな成果をあげており、他の模範となるものとして高く評価する。</p>

(敬称略)